

【団体戦でチームワークを育む】

チーム名 ()

メンバー ()

※リーダーに○をつける

〈ルール〉

- ・8点×5種目(40点)の団体戦
- ・①ダブルス→②トリプルス→③シングルス→④ダブルス→⑤トリプルスの順で8点ごとに種目を変更。
- ・点数はそのまま次の種目に引き継がれる。

☆全員が最低でも2回は出場できるように各チームでオーダーを考えてください。

☆試合の前後は整列して、相手と握手・挨拶を交わしましょう！

☆応援、声かけ、審判など積極的に参加して楽しんでください！

チーム名 () VS ()

①ダブルス () VS ()

②トリプルス () VS ()

③シングルス () VS ()

④ダブルス () VS ()

⑤トリプルス () VS ()

最終結果 () 対 ()

- ・第2回戦は3点×8種目(24点)で行います!!
- ・①ダブルス→②トリプルス→③シングルス→④ダブルス→⑤シングルス→⑥トリプルス→⑦ダブルス⑧ダブルス
- ・全員が最低でも3回は出場できるように各チームでオーダーを考えてください。

チーム名 () VS ()

①ダブルス () VS ()

②トリプルス () VS ()

③シングルス () VS ()

④ダブルス () VS ()

⑤シングルス () VS ()

⑥トリプルス () VS ()

⑦ダブルス () VS ()

⑧ダブルス () VS ()

最終結果 () 対 ()

【授業振り返りのヒント】

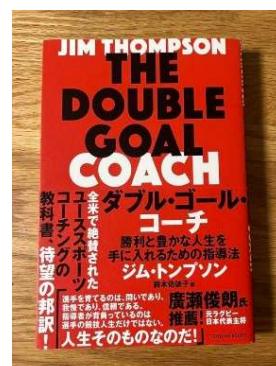
- Q. この団体戦で勝つ確率を上げるための作戦は何かありましたか？
- Q. 楽しかった点、難しかった点は何かありましたか？
- Q. 8点×5種目、3点×8種目というルール設定は適切だったでしょうか？
- Q. より楽しくするためにルールを変更するとなったらどのような工夫ができそうですか？
- Q. 盛り上げるためにみんなで工夫できることはありますか？

【私が指導者という立場で子どもたちと接するときに大切にしていること】

それは、「競技に敬意を払う」ということです。バドミントンは一人ではできない競技です。仲間がいるから一緒にシャトルを打ち合え、対戦相手がいるから自分の力をぶつけ、挑戦することができます。仲間や相手への「ありがとう」という気持ちを大切にし、試合の前後には握手や挨拶を交わすことを習慣にしてほしいと思っています。そうした心のあり方こそが、スポーツを通して人として成長し、人生をより豊かにしてくれると信じています。

「競技に敬意を払う」

- T : Tools (道具) を大切にする
- R : Rules (ルール) を守る
- O : Opponents (対戦相手) を尊重する
- O : Officials (審判) に敬意を払う
- T : Teammates (仲間) を大切にする
- S : Self (自分自身) を大切にする



「ダブル・ゴール・コーチ」

勝利と豊かな人生を手に入れるための指導法

ジム・トンプソン著